

特定非営利活動法人

フリースクール全国ネットワーク

【活動計画書】

特定非営利活動法人フリースクール全国ネットワーク

〒114-0021

東京都北区岸町 1-9-19 コーエイビル

TEL&FAX : 03 - 5924 - 0525

【今年度の基本方針と重点課題】

2015 年度は、超党派フリースクール等議員連盟による立法が示され、国のフリースクール等に対する支援方針が決定される年になります。当ネットワークとしては、「公的な支援」が可能になり、一人でも多くの子どもが多様な学びを保障されて、社会の一員として成長できるようしくみづくりを団体の総力を挙げて実現してゆきます。そのために以下の働きかけを行います。

- ①フリースクール議員連盟への働きかけを強め、超党派の議員の合意の元にできるだけ具体的な、財政的な支援も含めた政策決定されてゆく事を加速する。
- ②代表理事である奥地さんが「フリースクールに関する検討会議」の委員に選ばれた事を受け、会議をつうじて学校に行かない子どもの学習権を保障するために、子ども、家庭、フリースクールの関係で子どもが自ら「多様な学び」の場を選ぶといときの制度化が、子どもの権利を保障するよう検討し、提案していく。
- ③「多様な学び保障法を実現する会」との連携を深め事務局として他の団体と共に、新法の実現を加速してゆく

【重点課題】

今年度はフリースクールに公的支援が入るための 1 年として組織をあげて政策行政の働きかけを強めてゆく取り組みを強化してゆきます。

- ①加盟、未加盟問わず全国のフリースクールと連携して、自らの問題として公的な支援が入るしくみづくりを積極的におこなってゆく。全国数カ所で、フリースクールへの公的な支援が入る施策についての理解を深めるとともに、フリースクール側からの政策提言も積極的におこなっていく。。
- ②全国的な影響力を拡大してゆくための仲間を増やす。2015 年度中に正会員数の拡大をおこない、現在よりも 10 団体増加をめざしてゆく。
- ③JDEC やフリースクール全国フェスティバルをつうじて、今後当団体に期待される各フリースクールのニーズ調査（データ）に基づいた政策提案のしくみづくりを行う。そのために研究者、他のオルタナティブ教育関係者とのネットワークを強固にしてゆく。

A. 運営に関する事項

（Ⅰ）各種会議の開催（総会、理事会、事務局会議）

通常総会 : 2015 年 6 月 28 日（東京）

理事会 : 2016 年 6 月 28 日（東京）、11 月（東京）、2016 年 2 月（東京）予定

事務局会議：毎月 1 回（定例）

（Ⅱ）運営基盤整備

- ① 会員増に向けた取り組み

国のフリースクール支援施策の具体化に伴い、フリースクール等の活動は今後活発化していくと予想される。当ネットワークとしては、その機会をとらえ、また様々な事業の機会を通じて各地にフリースクール等との交流を深めることにより、多くのフリースクール等にその存在を認知され、加盟を推進し、ネットワークの基盤強化とともに、子ども中心の学びの支援のあり方を広めていくことを目指す。

その過程では、研修会や会議等への参加を **skype** 等でも可能にする、**USTREAM** で配信する等、遠方からの参加を可能にする仕組みについても検討を行う。

② 新体制の下での事務局体制の充実と安定

本総会において改選される理事会のもと、2014 年度までの活動成果を活かしつつ、さらに安定・充実した事務局体制の確立を図る。

具体的には、ボランティアや、助成・委託事業を担うアルバイトの受け入れ態勢の確立、会員増を通じた組織の拡大と会費収入増による財政の安定化を目指す。

（Ⅲ）事務局の体制

開 室： 毎週平日 9：30～18：00

職員体制： 事務局長 1 名 松島裕之（有給・常勤）

事務局員 5 名 朝倉景樹、安美留久見子、力石みのり、
中村国生、藤田岳幸

※事務局会議は、上記のメンバーと代表理事の出席の下で行う。

会議開催には **Skype** 等のテレビ会議システムも活用し、移動の負担の軽減を行う。

B. 事業および活動に関する事項

（Ⅰ）ネットワーキング事業

① 第 8 回 JDEC と第 3 回オルタナティブな学び実践研究交流集会の開催

国のフリースクール等への支援について、議員連盟から方針案が出されるなど、活発な動きの中で、具体的に当ネットワークが求められていることは何なのか？ 今まで取り組んできたことの経緯を整理して伝えるとともに、これからの取り組みとして必要とされることは何か？ 何に取り組むとしてできるかを全国の状況やオルタナティブな教育実践から探る。現実の子どもを取り巻く問題の解決とともに、多様な教育の構築について、全国の方々と幅広い意見交換の場を持ち、共有する。

- ・今回の具体案
- ・新たなフリースクール環境と果たしてきた役割についての報告と講演
- ・いまこそ、なにをなすべきか。フリースクール関係者とオルタナティブ教育関係者によるシンポジウム
- ・文部科学省、国会議員の話（予定）
- ・分科会（既存の団体のレベルアップのためのテーマ設定をする）

開 催 日	2016 年 2 月 6 日（土）～7 日（日）
開催場所	東京都新宿区 早稲田大学

※多様な学び保障法を実現する会主催「オルタナティブな学び実践研究交流集会」との

同時開催として、連携を図りながら双方が発展するようプログラムを設計をする。

② オルタナティブな学び実践研究交流集会の共同開催

今年は第3回目、東京（早稲田大学）での開催です。日本のオルタナティブな教育を実践する風が今全国に吹いています。その子ども中心の教育は、「子どもの権利条約」の子ども観に重なります。

子どもの権利条約を改めて学びつつ全国のオルタナティブ教育現場の実践や研究者の発表を伺い、多様な学び場の交流を行います。そして、これからの教育がどうあれば良いかを官民が共に学び合える場になるように考えています。

多様な学びは子どもの数だけあります。それぞれに合った教育、その子が望む学びを保障できるように、多様な学びが今考えられている国の仕組みの中でどのように展開できるか、そのために何が必要か、さらに意見交換を深めていきます。

関西大会では参加者の層に広がりがあったので、今回の関東でも2年前より参加者を広げたい、そのために日常的にも関心を持つ人を増やしたいと考えます。

開催日	2016年2月6日（土）～7日（日）
開催場所	東京都新宿区 早稲田大学

③ 文部科学省委託事業

2014年度の取り組みをもう一步前進させ、フリースクールでおこなわれる子ども支援の実践を可視化し、他団体でもその取り組みの長所を取り入れることが可能となるような「実践事例報告集」を作成する内容で委託提案をおこなっている。

まだ文部科学省内で審査をしている最中だが、採択された暁にはJDEC、フリースクールスタッフ養成研修講座とも連携しながら、効果的に事業を実施できるよう体制を整えていく。

④ ふくしまの子ども支援協議会の事務局受託

東日本大震災以降、「寺子屋方丈舎」、「ビーンズふくしま」は活動規模をひろげ福島県内外の被災児童生徒の育ちを支援してきました。ただ、子ども中心の学びや活動についてのこだわりや大事さ、十分にスタッフに落とし込む事ができないで苦慮してきました。今回フリースクール全国ネットワークが媒介になり多くのメンターが15名のスタッフの育成を行いました。2013年10月～2014年9月を1期、2014年10月～2015年9月を2期として、人材の育成を行っています。

スタッフを自団体以外の人に育成を養成する事は、本来ならば、あまり例のない事です。しかし、同じ価値観を共有する同士であれば、それも可能である事が今回わかりました。ネットワークの力と知恵を人材育成、他の研修にも活かす事のできるモデルにしてゆきたいと考えて活動をしていきます。

⑤ フリースクール設立・運営支援

これまで実施してきた内容に加え、国のフリースクール支援の動きをつかみ、支援を受けるための団体の基盤整備（会計経理等）についての学習会も実施する。

⑥ 情報発信

政府、文科省やフリースクール等議員連盟の動きをキャッチし、会員に向け発信をして

いくことに加え、年3回のニュースレター発行、その他様々な機会を通じてフリースクール等の存在とその活動の意義を広く社会に発信する。

（Ⅱ）交流イベント事業

① 「不登校・登校拒否を考える夏の全国合宿 2015」

「全国子ども交流合宿 維新もゆ 山口夏の陣! あそぼっ♪♪」の開催
毎年恒例となっている「夏の全国大会」を今年は山口県宇部市にて、現地のフリースクールや親の会、宇部フロンティア大学の協力も得て開催する、オープニングにはフリースクール等議員連盟会長の河村建夫議員にもご登場いただき、またメインの講演は女優の樹木希林さんをお願いするなど、これまで全国合宿に参加をしてこなかった人にもアピールできるような内容としたい。子どもプログラムも、東京の事務局、現地実行委員会に加え、九州など近隣のフリースクールの協力も得てプログラムを作り、多くの子どもに参加してもらえよう進めていく。

開催日	2015年8月22日(土)～23日(日)
開催場所	宇部フロンティア大学(メイン会場)、COCOLAND 山口・宇部(宿泊)
共催	NPO 法人登校拒否・不登校を考える全国ネットワーク
協力	宇部フロンティア大学

② フリースクール全国フェスティバル 2015 の開催

フリースクール全国ネットワークが主体となって開催するフリースクールフェスティバルは、2001年から継続してきました。様々な地域のフリースクールに通う子どもたちが企画&運営を行い、同じ場所に集い文化の発信をします。

全国には独自のカラーを持ったフリースクールがありますが、規模も大小有りスポーツ大会や文化交流が難しい環境もあります。しかし、子ども主体のフェスティバルでは時間と場所を共有することができ、離れた地域の子ども同士が、より一層繋がりを深める画期的なイベントです。

「フリースクールフェスティバル 2015」は、11月28日に予定されています。企画を含め今から準備に入りますので、フリースクール同士や地域が繋がる「フリースクールフェスティバル」の開催を各団体に呼び掛け、広報等の協力を行っていきます。なお、東京でのフェスティバル開催にあたっては、THE BODY SHOP 基金の助成を受けられる事が内定した。

開催日	2015年11月28日
開催場所	東京シュレーゲル中学校

（Ⅲ）研修事業

① フリースクールスタッフ「研修・養成」講座の開催

子ども主体の学び・育ちを日々実践しているフリースクール・フリースペース・ホームエデュケーション等のスタッフが、全国の仲間との交流を通しながら子どもたちにとってより良い居場所となるために学びを深め経験を共有すること、および、フリースクール等の活動に関心のある方やこれからフリースクール等の設立を考えている方の学びの機会となることを目的にフリースクールスタッフ養成研修を実施します。

今年度は、フリースクールのことを知る・設立を検討する等を目的とした参加者（学生含む）を対象とした養成研修と、既存団体スタッフが対象となる団体の基盤整備を目的とした研修を別途開催することを検討しています。団体の基盤整備についての研修においては、国のフリースクール等支援の動向を受けフリースクール等が公的支援を受ける体制についても学び合える機会としたい。

開催日	2015年10月3日～4日
開催場所	北とぴあ（東京都北区） 及び 東京シェーレ王子

② フリースクールスタッフ・不登校支援者養成連続講座 in 山口の開催

山口県にて全3回のフリースクールスタッフ養成連続講座を開催し、地方におけるフリースクール等への理解・周知を図ることとします。

夏の全国合宿に参加するボランティアの事前研修の役割も兼ね、全国大会と養成講座の双方が盛り上がるよう留意して開催します。

開催日	2015年7月20日、8月16日、9月6日（全3回）
開催場所	宇部フロンティア大学
協力	宇部フロンティア大学
助成	電通育英会（50万円）

③ 正会員・支援会員団体が開催する研修等への協力・共催

地方におけるフリースクール等への理解・周知、正会員・支援会員団体のスタッフ研修の充実、近隣地域のフリースクール等のネットワーク強化を目的とし、正会員・支援会員団体主催の研修等への協力・共催に取り組むこととしたい。

（Ⅳ）国際交流事業

① IDEC（世界フリースクール大会）に関する情報発信と APDEC（アジア・太平洋フリースクール大会）の開催準備に向けた取り組み

IDEC（世界フリースクール大会）は、世界各地のフリースクールの子ども・親、スタッフ、学生、研究者などが年に1回集まる大会です。毎年、世界のどこかで持ち回りで開かれてきました。フリースクール全国ネットワークでも昨年を含め何回かツアーを組んで参加してきました。2015年は4月にニュージーランド・ネルソン市で開催されました。IDEC2015 ニュージーランド大会の参加報告をフリースクールフェスティバル等で行ないます。来年以降の開催情報などもお伝えします。また、IDECのアジア太平洋地域大会とも言える大会を2017年に日本で開催する準備に着手します。

（Ⅴ）調査研究・政策提言事業

① 国の検討会議、議連

ちょうど1年前の6月、ロビー活動が功をそうし、超党派フリースクール議員連盟が誕生、7月には教育再生実行会議で支援への提言が出され、8月には国の概算要求に支援検討の予算計上、9月フリースクール等担当官設置、安倍総理と下村文科大臣のフリースクール訪問を経て、11月には国のフリースクール等フォーラムが開催され、学び育ちは多様であり、国が支援をするという、これまでなかった方向が強まってきた年でした。今年1月に入って有識者会議「フリースクールに関する検討会議」が開かれ、当ネットワークからも奥地が参加、他に3名のフリースクール関係者が入りました。公開あり、傍聴ありで、すでに4回の検討会議がもたれ、中間報告が6月に出る予定で、当ネットワ

ークは、積極的に参加、もう一つの不登校に関する調査研究協力者会議とともに事務局長が毎回記録を発信しています。また内容に「多様な学び保障法を実現する会」で検討してきたことも活かすように発言しています。

② 多様な学び保障法立法の推進

今年度も引き続き、実現する会事務局運営を月額 20,000 円で受託する。超党派フリースクール等議員連盟による新法提案が本格化しているが、これはフリネットと実現する会による骨子案提案の成果が大きい。フリネットとしてスピードを上げて対応して必要がある。以下の取り組みを進める。

- ・子どもの権利条約を尊重、保障する立場から、「多様な教育機会確保法（仮称）」の成立について、前向きに運動を推進していく。その過程では、全国で学習会や意見交換会で議論をしていく。
- ・事務局担当を通して、多様な学びの場の結節点として、フリネットの存在と役割をより発揮する
- ・多様な学びの選択が可能となることを前提に、子ども・家庭、フリースクールの対応を具体的にシュミレーションし、しっかりと制度を活かせるよう準備をしていく。具体的には、子ども・家庭へのサポート、フリースクールの役割と仕事などについての検討をする。
- ・フリースクールのア kred i t a t i o n 機関の設置、設立に向けて、設立、組織、仕事、今後の方針と計画を立て、会員に諮っていく。そのための PT をつくる。多様な学び保障法を実現する会や、フリースクール以外のオルタナティブ教育機関との連携、役割分担も行いつつすすめていく。

③ フリースクールの状況把握のための経年調査と発信

フリースクール基本調査は、すでに 5 回の実績を積み重ね、件数は少ないものの、文科省が会議資料として活用するなど、社会的な意義も高まっている。今年度は、以下のよう

- ・2014 年度までの調査の活用
会員団体が地域でのフリースクール普及や政策提言・行政交渉でデータを活用できるよう使いやすい形で共有を図る。
- ・2015 年度調査の実施について
実施時期：2015 年 10 月～11 月（10 月 1 日現在状況で回答を得る）
実施対象：会員、支援会員であるフリースクール等の団体・スクール
集計公表：第 8 回 JDEC 日本フリースクール大会で公表、その後ホームページでも公開
回答率を上げていくことが重要であるので、ご協力をお願いしたい。

【理事会体制】

役職	氏名	所属	新旧
理事	江川 和弥	NPO 法人寺子屋方丈舎理事長	再任
理事	奥地 圭子	NPO 法人東京シュレー理事長	再任
理事	木村 清美	フリースクールヒューマン・ハーバー主宰	再任
理事	中林 和子	NPO 法人ふぉーらいふ理事長	再任
理事	中村 尊	NPO 法人フリースクールクレイン・ハーバー理事長	再任
理事	増田 良枝	NPO 法人越谷らるご理事長	再任
理事	前北 海	NPO 法人ネモ ちば不登校・ひきこもりネットワーク理事長	新任
監事	児玉 勇二	弁護士	再任

※役員報酬は、全員なしとする。